

四国旅客鉄道株式会社 2019 年度決算等に関する公告

2020 年 8 月 31 日

香川県高松市浜ノ町 8 番 33 号
四国旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 西牧 世博

1 2019 年度の貸借対照表及び損益計算書の要旨

貸 借 対 照 表 の 要 旨

(2020 年 3 月 31 日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	28,757	流 動 負 債	35,334
固 定 資 産	126,436	固 定 負 債	63,093
経 営 安 定 基 金 資 産	235,030	鉄 道 ・ 運 輸 機 構 特 別 債 券	
鉄 道 ・ 運 輸 機 構 特 別 債 券	140,000	引 受 け の た め の 借 入 金	140,000
		資 本 金 等	286,165
		利 益 剰 余 金	5,631
合 計	530,224	合 計	530,224

(注) 1 有形固定資産の減価償却累計額 215,581 百万円

2 1 株当たりの当期純利益 7,728 円 35 銭

損 益 計 算 書 の 要 旨

(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営 業 収 益	28,035
営 業 費	41,181
営 業 損 失	13,145
営 業 外 利 益	11,094
経 常 損 失	2,051
特 別 利 益	14,223
特 別 損 失	10,149
税 引 前 当 期 純 利 益	2,023
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	△335
法 人 税 等 調 整 額	1,817
当 期 純 利 益	540

(注) 営業外利益のうち、経営安定基金運用収益 6,800 百万円、
鉄道・運輸機構特別債券受取利息収益 3,500 百万円

2 主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

- (1) 主たる事務所の所在地 香川県高松市浜ノ町8番33号
- (2) ディスクロージャー担当部署 広報室
- (3) 電話番号 087-825-1626

3 2020年度の事業計画の概要

「安全の確保」が事業運営の根幹であり、最重要課題であるとの認識のもと、具体的な基本方針として、「お客様に『安心して』『喜んで』『未永く』ご利用いただく」、「鉄道の活性化」を掲げ、各種施策を推進する。

安全・安定輸送の確保に向けては、安全管理体制を有効に機能させ、輸送品質の向上を図る。鉄道運輸収入の確保に向けては、ダイヤ改正により利便性の向上を図るとともに、四国外からの誘客に繋がる魅力的な商品造成及び観光列車による四国周遊促進を進め、交流人口拡大に努める。また、非対面販売力の強化や地元等との協働による地域資源の磨き上げ等に継続して取り組む。

「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」については、「中間整理」を踏まえ、県別（地域別）の会議を通じて、四国における公共交通ネットワークのあるべき姿や鉄道の活かし方について議論等を進めるとともに、関係者との連携・協働による鉄道を利用しやすい環境づくりや利用促進に取り組み、それらを踏まえ当社が担うべき役割と使命の明確化の検討を進める。四国の鉄道の抜本的高速化については、地域社会からより一層の理解を得るため、高速鉄道整備の必要性や意義等について広く周知を図る。

輸送量の見通し		列車の運行量
輸送人員	輸送人キロ	列車キロ
46 百万人	1,457 百万人キロ	20 百万キロ

(注) 上記の数値は、経済情勢の動向等により変動する場合がある。

4 2019年度の事業報告の概要

景気の緩やかな回復や前年度の豪雨災害の反動等もあり、鉄道運輸収入は堅調に推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により2月から急激に減少し、豪雨災害の影響を受けた前事業年度よりもさらに減収となりました。

こうした経営状況のもと、四国における基幹的公共輸送機関としての役割を全うするため、経営安定化のための支援措置を活用し、2700系特急気動車の新製などを実施したほか、安全対策に必要な追加的支援措置を活用した高松運転所集約化などを行い、安全・安定輸送体制のさらなる強化に努めた。また、瀬戸内国際芸術祭2019に合わせた商品設定や観光列車等を活用した観光誘発に取り組んだほか、インバウンド需要の取り込みやWEB販売サイトを活用した非対面販売力の強化により、収入の確保に努めた。経費面では、修繕費を引き続き高い水準で維持し、安全対策を推進した。

以上の結果、当期の営業収益は28,035百万円、営業損失は13,145百万円、経常損失は2,051百万円となり、これに固定資産圧縮損等の特別損益を加減し、法人税等を差し引き、当期純利益は540百万円となった。

5 国からの出資金及び補助金等の額（2020年度予算）

鉄道防災事業費補助金 70百万円、鉄道施設総合安全対策事業費補助金 142百万円
地域公共交通確保維持改善事業費補助金 15百万円、観光振興事業費補助金 85百万円
災害復旧事業費補助金 152百万円、戦傷病者等無賃乗車船等負担金 0百万円

6 関係会社一覧 (2020年3月31日現在)

会 社 名	出 資 額	出 資 比 率
株式会社J R 四国ホテルズ	2,300 百万円	100%
ジェイアール四国バス株式会社	740 百万円	100%
四国キヨスク株式会社	614 百万円	100%
株式会社ウィリーウィンキー	400 百万円	80%
よんてつ不動産株式会社	350 百万円	100%
株式会社ステーションクリエイト東四国	310 百万円	100%
株式会社めりけんや	136 百万円	100%
本四塗装工業株式会社	75 百万円	100%
四国開発建設株式会社	68 百万円	100%
四国電設工業株式会社	61 百万円	100%
株式会社ステーションクリエイト愛媛	60 百万円	100%
四国鉄道機械株式会社	51 百万円	90%
株式会社ジェイアール四国企画	40 百万円	100%
四鉄運輸株式会社	39 百万円	91%
四鉄サービス株式会社	31 百万円	100%
株式会社ステーションクリエイト高知	30 百万円	100%
株式会社ジェイアール四国メンテナンス	30 百万円	100%
株式会社ジェイアール四国コミュニケーションウェア	26 百万円	100%
株式会社駅レンタカー四国	14 百万円	100%
J R 徳島駅ビル開発株式会社	10 百万円	100%
J R 四国情報システム株式会社	3 百万円	100%

7 組織の概要

(1) 定款

定款により取締役 18 名以内、監査役 4 名以内

(2) 役員の名、役職及び任期 (2020 年 6 月 26 日現在)

氏名	役職	任期	最終官職
半井 真司	代表取締役会長	2020 年 6 月 26 日～2022 年 6 月株主総会日	—
西牧 世博	代表取締役社長	2020 年 6 月 26 日～2022 年 6 月株主総会日	—
森下 聖史	専務取締役	2020 年 6 月 26 日～2022 年 6 月株主総会日	—
加藤 隆司	常務取締役	2020 年 6 月 26 日～2022 年 6 月株主総会日	国土交通省大臣官房付
長戸 正二	常務取締役	2020 年 6 月 26 日～2022 年 6 月株主総会日	—
四之宮和幸	常務取締役	2020 年 6 月 26 日～2022 年 6 月株主総会日	—
藤本 聡	常務取締役	2020 年 6 月 26 日～2022 年 6 月株主総会日	—
平田 成正	取締役	2020 年 6 月 26 日～2022 年 6 月株主総会日	—
岡田 幸士	取締役	2020 年 6 月 26 日～2022 年 6 月株主総会日	—
千葉 昭	取締役	2020 年 6 月 26 日～2022 年 6 月株主総会日	—
宮崎 雅子	取締役	2020 年 6 月 26 日～2022 年 6 月株主総会日	—
松島 裕彦	監査役	2019 年 6 月 28 日～2023 年 6 月株主総会日	—
大塚 岩男	監査役	2019 年 6 月 28 日～2023 年 6 月株主総会日	—
山元 文明	監査役	2019 年 6 月 28 日～2023 年 6 月株主総会日	—
真鍋恵美子	監査役	2019 年 6 月 28 日～2023 年 6 月株主総会日	—

(3) 社員数 (2020 年 4 月 1 日現在員)

2,149 人